



VLOOKUP の使い方 【社員名簿編】

社員名簿と数式が同じシートにある場合の数式の作り方

社員名簿

fx

数式を入れるセルを選択

「VLOOKUP」
を入力

「VLOOKUP」
を選択

あらかじめ社員番号を入れておくと
数式作成と同時にチェックできる

連絡先が表示
されたことを確認

各項目を入力
 検索値 : G2
 範囲 : \$A:\$D
 列番号 : 4
 検索方法 : FALSE

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	社員番号	氏名	部	連絡先			社員番号	氏名	連絡先
2	1001	A本A夫	製造部	080-1234-0001			1005	E本E夫	
3	1002	B田B太	製造部	080-1234-0002					
4	1003	C村C子	営業部	080-1234-0003					
5	1004	D川D助	営業部	080-1234-0004					
6	1005	E本E夫	総務部	080-1234-0005					

G	H	I
社員番号	氏名	連絡先
1005	E本E夫	080-1234-0005

関数の挿入

関数の検索(S):

関数の分類(C): 候補

関数名(N):

VLOOKUP(検索値,範囲,列番号,検索方法)

指定された範囲の 1 列目で特定の値を検索し、指定した列と同じ行にある値を返します。テーブルは昇順で並べ替えておく必要があります。

この関数のヘルプ

OK キャンセル

関数の引数

VLOOKUP

検索値

範囲

列番号

検索方法

= "総務部"

指定された範囲の 1 列目で特定の値を検索し、指定した列と同じ行にある値を返します。テーブルは昇順で並べ替えておく必要があります。

検索方法 には検索値と完全に一致する値だけを検索するか、その近似値を含めて検索するかを、論理値 (近似値を含めて検索 = TRUE または省略、完全一致の値を検索 = FALSE) で指定します。

数式の結果 = 総務部

この関数のヘルプ(H)

OK キャンセル